

4項目のアピール採択

士会 女性建築士連絡協議会

日本建築士会連合会(士会連合会)の第24回「全国女性建築士連絡協議会」が2月27、28日の2日間、東京・芝の建築会館ホールで開かれた。写真。『未来へつなぐ居住環境づくり』がテーマ。全員の女性建築士約300人が参加し、『子どもたちの安心な居住環境づくり』を掲げ、27日の開会式では、士会連合会の永井香織女性委員長があいさつし、



「東日本大震災の被災者が安全な暮らしに戻るまで復興の支援は終わらない。原発事故を含む震災を経験したからこそ、子どもたちの安心な居住環境づくりが女性建築士の責務だと考えている。未来に向けて協議会の活動を社会に積極的に発信する」と述べた。

基調講演では、コミュニケーションデザイナーを手掛ける荒島史氏(HITOTOWA代表)が「ネイバフットデザイン」東日本大震災から学ぶ『よき避難者』を育成する防災減災』をテーマに講演し、集合住宅などの「コミュニティ」育成のための仕組みづくりの大切さを説いた。講演後、士会連合会女性委員会が

実施した「在宅要介護高齢者の住まいのあり方に関する調査」の報告や、東日本大震災の被災地での現状報告などが行われた。

28日には全員参加による分科会が開かれ、『震災①防災への取り組み』『震災②ボランティア活動の報告』『歴史の建造物と建物再生』『素材と環境共生住宅』『景観まちづくり』『子どもと住環境』『高齢社会と福祉住宅』『集まって住む』の8テーマに分かれて議論が展開された。

こうした議論を踏まえ、▽未来を担う子どもたちや生活の礎を築いてきた高齢者に安全・安心な「未来につなぐ居住環境づくり」を目指す▽ハードとソフトの両面からの防災に取り組み▽震災を過去のものにしなない継続した取り組みと原発などの課題に向き合い、『大切にしたい暮らし方』を守る▽異業種や地域団体、企業、行政などの専門家と協働して誰もが暮らしやすい社会の実現を目指すの4項目のアピールを採択した。

15年ぶり1兆円超 日建連会員 1月国内受注

日本建設業連合会(日建連)がまとめた会員企業98社の1月の受注総額は前年同月比36・6%増の1兆1181億円と大幅に伸びた。内訳は国内が1兆1010億円(前年同月比45・3%増)、海外が171億円(71・9%減)。民間、公共工事とも前年同月の水準を上回り、国内は1月としては15年ぶりに1兆円を超えた。14年4月～15年1月の累計受注額は1兆9074億円(前年同期比9・8%増)、国内は1兆1502億円(8・5%増)で、1兆円を超えたのは17年ぶり。

1月の国内受注額は、民間工事が7874億円(前年同月比48・4%増)、官公庁工事が3124億円(37・8%増)。民間は、消費増税を控えた駆け込み需要に対する反動で前年の受注額が少なかったのに加え、製造業・電気機械業からの工場など、非製造業の不動産業、サービス業からの再開発による住宅、大型の事務所の受注が好調で、全体を押し上げた。官公庁のうち、国の機関からの受注は2317億円(46・8%増)、地方機関からの受注は807億円(17・2%増)。国内の民間工事の14年4月～15年1月の累計受注額は、7兆1582億円(前年同期比3・4%増)となっている。前年度(CIM)の紹介資料となっており、15年度から会員組合を対象にBIM、CIMに関する講習会などを開く予定だ。全建協連は、会員組合の生産性の向上や新事業の展開に役立つ広範囲の整備を進めている。BIMとCIMは、14年度の第3弾となり、14年度に予定していた作業はこれで完了した。「会員組合の活動テーマの一つは、生産性の向上。BIMとCIMに取り組み必要がある」と青柳会長。BIMやCIMの導入に前

15年度に講習会も

BIMとCIM 広報冊子を作成 全建協連

向きな会員組合があり、講習会を通じて、必要な情報の周知を促す方針だ。これまで全建協連は、残士受け入れをはじめ、加盟組合が行っている有望な事業を冊子にまとめてきた。第1弾で、群馬県建設業協同組合と群馬建設業協同組合の事業を紹介する2冊、第2弾として福島県建設業協同組合加入宮下地区建設業協同組合と石川県建設業協同組合の事業を紹介する2冊を発行。今回のBIM・CIMを含めた計5冊の冊子を近く、研修資料として加盟組合所属企業に配布する。冊子の発行は15年度も予定している。

「東日本大震災の被災者が安全な暮らしに戻るまで復興の支援は終わらない。原発事故を含む震災を経験したからこそ、子どもたちの安心な居住環境づくりが女性建築士の責務だと考えている。未来に向けて協議会の活動を社会に積極的に発信する」と述べた。

基調講演では、コミュニケーションデザイナーを手掛ける荒島史氏(HITOTOWA代表)が「ネイバフットデザイン」東日本大震災から学ぶ『よき避難者』を育成する防災減災』をテーマに講演し、集合住宅などの「コミュニティ」育成のための仕組みづくりの大切さを説いた。講演後、士会連合会女性委員会が



「東日本大震災の被災者が安全な暮らしに戻るまで復興の支援は終わらない。原発事故を含む震災を経験したからこそ、子どもたちの安心な居住環境づくりが女性建築士の責務だと考えている。未来に向けて協議会の活動を社会に積極的に発信する」と述べた。

基調講演では、コミュニケーションデザイナーを手掛ける荒島史氏(HITOTOWA代表)が「ネイバフットデザイン」東日本大震災から学ぶ『よき避難者』を育成する防災減災』をテーマに講演し、集合住宅などの「コミュニティ」育成のための仕組みづくりの大切さを説いた。講演後、士会連合会女性委員会が

残す

基本計画

で、ヨナルエリアの作業目標や役割を示した。五輪レガシー(遺産)



を残すため、16年のリオオリンピック五輪までに「アクション&レガシープラン」を策定する。テーマとして▽スポーツ・健康▽街づくり・持続可能性▽文化・教育▽経済・テクノロジー▽復興を進めるとしている。

蟹澤宏剛芝浦工大教授は、自民党国家戦略本部(川崎一郎本部長)が2月26日に党内で開いた会合で「2030年の建設業の展望と課題について」をテーマに講演した

社保加入・法令順守を

重層・低生産性の主因

他産業に比べて賃金が低い実態を踏まえ、「個人請負」という高度成長期のビジネスモデルは限界といえる」と訴えた。

重層下請問題にも言及。「途上国も先進国も2～3次程度。一般的な3～4次といわれる構造は日本固有の問題で、過度な分業・重層化が生産性低下の主因にもなっている」と指摘し、それを解決するために社会保障加入と法令順守を徹底する必要があるとした。

特に、社会保障加入をめぐっては、技能者の大半が含まれる「社員以外」の加入率が低いことか、社員化を進めるべきも提案した。

〈四国〉香川河川国道

簡易公募型競争入札方式に係る手続開始について (参考) 平成27年3月2日

- 業務概要
 - 業務名 平成27年度 香川管内地下水調査業務 (電子入札対象案件)
 - 業務内容 本業務は、一般国道11号大内白鳥バイパス事業及び一般国道32号猪ノ鼻道路事業が周辺地下水等に及ぼす影響を把握するため、井戸等の水位・水質調査等を行い、今後の基礎資料とするものである。
 - 履行期間 契約締結日の翌日から平成28年3月31日まで
- 入札手続等
 - 担当部局 四国地方整備局 香川河川国道事務所 経理課 契約係 電話 087-821-1603
 - 説明書の交付期間・場所及び方法 平成27年3月2日から平成27年4月2日まで 電子入札システムからダウンロードにより交付する。なお、これにより難しい場合は(1)に掲げる担当部局に照会すること。
 - 参加表明書の受領期限 平成27年3月12日 午後5時00分

(注) 公示文の全文は、四国地方整備局及び香川河川国道事務所に掲示するとともに、入札情報サービス (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Index.htm) に掲載している。

〈近畿〉姫路河川国道

簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始について (参考) 平成27年3月2日

- 業務概要
 - 業務名 播磨地域道路網調査業務
 - 業務内容 本業務は、播磨地域における地域産業や環境状況及び交通特性等から地域の抱える課題を整理し、地域経済等に与える道路整備効果について、定量的に把握することを目的に実施する。
 - 履行期限 平成28年3月10日
- 手続等
 - 担当部局 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 経理課 電話 079-282-8215
 - 説明書の交付期間・場所及び方法 平成27年3月2日から平成27年3月10日まで 説明書を電子入札システムにより交付する。なお、これにより難しい場合は、(1)に掲げる担当部局に照会すること。
 - 参加表明書の提出期限 平成27年3月10日 16時00分

(注) 公示文の全文は、掲示するとともに、http://www.i-ppi.jp に掲載している。

簡易公募型プロポーザル方式による手続開始の公示 (建築のためのサービスその他の技術的サービス (建設工事を除く))

次のとおり技術提案書の提出の手続を開始します。なお、本手続に係る契約の相手方の決定及び契約締結は、当該業務に係る予算達致がなされることを条件とするものです。

- 技術提案書の採用のための評価基準項目
 - 技術職員の経験及び能力
 - 配置予定技術者の資格、経験、同種又は類似業務の実績、担当した法務省発注
- 配置予定技術者の手続業務の状況
- 業務において他の業者の協力又は学識経験者の援助を受ける場合の当該業者又は学識経験者の状況

建設現場で活躍する カンベの運搬台車

新型平床台車 H1280DC

現場での材料の運搬・保管・整理整頓に

保管時 積み重ねが できるので、 未使用時も